

函

号

冊

宗性上人資料集原稿

(年譜)

宗性上人資料集原稿

5

10

15

20

25

P

實
34
法師
南傳史料

年
月
日

昭和
年
月調

113
國
154
号
27
冊

P

年
月
日

昭和
年
月
調

探玄記第十二巻抄

沙門釋實弘

(表題)
○宗性自筆

探玄記第十二巻抄

○冊子本

113
154
27

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

117

113
國
154
号
2-1
冊

P

(内表紙)
○庚辰自筆

5

10

(年譜)

15

20

25

宗性上人資料集原稿

探玄記第十卷叙
私

○但し、奥書ナシ

實弘

實元四年

年
月
日

昭和
年
月
調

113
函
154
号
2-2
冊

P

〔探玄記第十三巻抄〕

○冊子本

(表題) ○宗性自筆

探玄記第十三巻抄

(表題) ○実弘自筆

沙門釋実弘

寛治元年

探玄記愚斂
力十三巻
ニ處

花岩実弘

(年譜)

113
154
2-2

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

P _____

四題

探玄記第十三卷愚鈔付疏演義鈔

(端書)

建長五年新廿構実34同幸存

寶治元年廿構実弘向良辨

〇但、本書、奥書ナシ

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

P

撰去記第十五卷大慶抄

(表題) 宗性自筆

〇冊子本

113
155
1

撰去記第十五卷大慶抄

沙門釋實弘

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

P

(表題) 庚辰自筆

5

10

(年譜)

15

宗性上人資料集原稿

20

25

建長三年

書寫之

探玄記第十五卷抄書出 大度

砂河 寅寅 34

(内題)

探玄記十五卷抄

此卷九十二叶

年

月

日

昭和

年

月調

P

(與書)

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

建長二年正月八日夜時於知足院別處燈下書寫之

柳探玄記第十五回、去年之卅講當處也、而院家旁

有計會事延解行、今年春季之内、可被行之由、請定已

仍源雖勞勤仕彼講、專依興隆仙法之思、為先不憚寒天、

於燭火下書之、後復覽之士、可哀其意者也。

求法少僧實弘生年三十
戒前古

同九日巳時一校了、

年
月
日

昭和
年
月調

123

113
國
156
号
3-1
冊

P

年
月
日

昭和
年
月
調

撰玄記第七卷三十講為論義抄

(表題) 〇宗性自筆

撰玄記第七卷三十講為論義抄

〇冊子本

113
156
3-1

沙門釋實弘

5
10
15
20
25
(年譜)
宗性上人資料集原稿

P

(表題)

〇実34自筆

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

仁治三年四月日

字三十講疑問論義

力七卷
仁治二年之分

實34

(端書)

仁治二年之分三十講、實34同範義

仁治二年之分廿講、實34同範義

〇但、由答ノ要スハ略ス、又々本書ノ奥書ナリ

年 月 日
昭和 年 月 調

125

113
國
156
号
3-2
冊

P

探玄記第十三卷三十講為論義抄

〇冊子本

(表題) 〇宗性自筆

探玄記第十三卷三十講為論義抄

沙門釋實弘

113
156
3-2

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

P

(端書)

探玄記十三卷鈔

為論義集

沙門實弘

寶治元年

寶治元年卅歲 實弘同良師
建長五年新井遺實弘同幸源

但此本實弘與書家レ
内冬ノ要文ハ略スナリ

年
月
日

昭和
年
月調

(年譜)

宗性上人資料集原稿

127

113
函
156
号
3-3
册

P

〔撰玄記第十一卷第十之卷三十講為論義抄〕○冊子本
(表題)・字性自筆

撰玄記第十一卷第十六卷三十講為論義抄

沙内釋實弘

(内題)

撰玄記抄 為論義抄
才十五之

113
156
3-3

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年 月 日
昭和 年 月 調

P

(端書)

建長二年^十條之内廿條、實弘向賢清、
建長三年^十之内廿條、實弘向賢清、
。但、向谷ノ要スハ略ス、マタ本書ノ奥書ハナシ、

年
月
日

昭和
年
月
調

(年譜)

宗性上人資料集原稿

P

〔華嚴字雜海義抄〕

〇冊子本

113
157
1

(表題) 宗性自筆

華嚴字雜海義抄

沙門釋實弘

(端書)

〔宗卅講 慶成肉貞辨〕

〔宗卅講 慶成肉貞辨〕

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

130

113
國
157
号
1
冊

P

年
月
日

昭和
年
月
調

○但、本書内容、要文略す、又本書、奥書付也、

5
10
15
20
25

(年譜)
宗性上人資料集原稿

131

113
函
158
号
1
册

P

〔尊勝院四季講問答記〕

(表題) 宗性自筆

尊勝院四季講問答記

〇冊子本

113
158
1

建長三年
三月六日

沙門釋實34

内題

四季講日記

年 月 日
昭和 年 月 調

(年譜)

宗性上人資料集原稿

P

四季講日記

容

講師

頼尊得業

由著、實弘法師

。但、問答、要文ハ略ス、マタ本書、奥表ヲ欠ク、

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

P

〔尊勝院四季講論教本〕

(表題) 宗性自筆

尊勝院四季講論教本

〇冊子本

113
159
27

建長三年

三月六日

沙門釋實孫

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月
調

134

113
函

159
号

2-1
册

(2-2)

P

(表題) 〇実証自筆

尊勝院四季講論義裁

建長三年
春季

〇但云 本書ノ奥書ナリ

〔尊勝院四季講論義裁〕

〇冊子本

113
159
2-2

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

P

(表題) 宗性自筆

尊勝陀四季構論義抄

建長三年
三月之日

沙門釋實弘

(表題) 實弘自筆

尊勝陀四季構論義

建長三年
春季

建長三年三月日

(沙)
砂門實弘

〇但之本書ノ奥書ナシ

昭和 年 月 調

(年譜)

宗性上人資料集原稿

No. 124 136

113
160
2-1
冊

P

自宗学道疑向論義集第一

(表題) 宗性自筆

〔自宗学道疑向論義集〕

〇冊子本

113
160
2-1

(年譜)

宗性上人關係資料集原稿

沙内釋宗弘

昭和
年
月
調

P. ~~113~~

(表題) 〇 庚弘自筆

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人關係資料集原稿

嘉禎三年十一月 日 始之

自字學道 疑肉痛義集第一

花嚴末葉 沙門震弘 實

(端書)

「嘉禎三年花嚴講 實弘問信盛」

「嘉禎三年花嚴講 實弘問信盛」

「延應元年花嚴講 實弘問藏田得業」

「延應元年花嚴講 實弘問藏田得業」

「延應元年字井講 實弘問慶重 初據去記第五之內迴」

昭和 年 月 調

P

延應元年、字卅構、寅弘肉度重初ト、按云元カ五弓之廻

仁治元年花嚴構、寅弘肉藏田得業、

仁治元年花嚴構、寅弘肉藏田得業、

仁治元年字卅構、寅弘肉幸藝、按云元カ五弓之内

仁治元年字卅構、寅弘肉幸藝、初ニト

仁治二年恒例ハ構、寅弘肉、寅弘大法師、

仁治二年恒例ハ構、寅弘肉、寅弘大法師、

仁治二年花嚴構、寅弘肉聖禪、

仁治二年花嚴構、寅弘肉聖禪、

仁治三年恒例ハ構、寅弘肉道源大法師、

。但シ、梅歌、要文ハ略ス、マタ本書中字性、自筆ヲ交ヘル、次ニ

本書ノ奥書ヲ欠ル、

年
月
日

昭和
年
月
調

(年譜)

宗性上人資料集原稿

139

113
160
7-2
冊

P

〔自字学道疑向論義集〕二
〇冊子本
(表題)・宗性自筆

自字学道疑向論義集卷二

沙内釋實弘

113
160
2-2

5
10
15
20
25

(年譜)
宗性上人資料集原稿

年
月
日
昭和
年
月調

P

(表題)

寅弘自筆

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

仁治三年四月日始之

自字學道疑由梅藏集力二

廿七歲末葉所寅弘

(端書)

「仁治三年」字冊構寅弘肉乾美、但此構自仁治三年四月始被行之。

「仁治三年」花岩構寅弘肉重祥。

「仁治三年」字冊構寅弘肉玄淵 自仁治三年十二月九日被始行

「仁治三年」字冊構寅弘肉玄淵」

年 月 日
昭和 年 月 調

141

113
函
160
号
2-2
冊

P

寛文元年宗世構、宗弘向去洲、
寛文元年宗世構、宗弘向去洲、
○但し、向答ノ要文ハ略ス、又々本書ニ奥書ナシ、

年
月
日

昭和
年
月調

5
10
15
20
25
(年譜)
宗性上人資料集原稿

113
161
号
册

P

華嚴唯心義短冊

〇冊子本

113
161
1

(表題) 宗性自筆

華嚴經唯心義短冊

沙門釋實弘

年
月
日

昭和
年
月調

5
10
15
20
25
(年譜)
宗性上人資料集原稿

P

(表題)

寅巳自筆

5

10

(年譜)

15

20

25

宗性上人資料集原稿

華嚴短釋

羊僧寅巳

(寫書)

寫本了

迄應之比抄之

花嚴字書海

年
月
日

昭和
年
月調

P

(奥書)

寛之三年七月廿六日 於東大寺南水内書寫了

花嚴末葉 沙内 寛34年歲
廿五

同日 一校了

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

145

113
162
号
1
册

P _____

〔四十華嚴經疏抄〕
(表題)

〇冊子本

113
162
1

四十華嚴經疏抄

沙門釋宣賢弘

年
月
日

昭和
年
月調

5
10
15
20
25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

P

(表題) 宗性自筆

5

10

(年譜)

15

宗性上人資料集原稿

20

25

四十經疏一見日記

華嚴末葉實弘

(内題)
四十經疏要文 竅略

(奥書)

中

自寛元々年四月五日、於東大寺西塔院始披之、此日於生
馬文殊御前、自今日可披見此疏之由、藤原啓白畢。

年 月 日
昭和 年 月 調

P

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

此條聊有所存、所謂信位知識者、是文殊師利菩薩也、故殊致信心、於行基并即前起、堅固願始之、此即為當未解行、位始奉值之殊事、願故也。今日、又弥勒如來有緣日故、雖及夜陰所始之也。願望雖多端、所詮臨終正念、上生內院、奉值遇、希傳為修善普賢行願也。兜率即華藏也。

當時即第二七日也。願今生或實堅固信順次、定至解行位、彼如善財童子值五十五聖極立位圓融、因於一身、窮三祇修行於二七乃至無邊善願、肝要不出之、仰願華嚴教主釋迦牟尼如來、五十五聖者、諸善知識、哀愍弟子、愚願垂加持、護念道心、堅固、永捨世名利、修學不退、遠離魔界防身。

第一卷

年 月 日

昭和 年 月 調

P

(年譜)

宗性上人資料集原稿

四月十三日於笠置寺福城院奉讀之畢

第二卷 同日於同處奉讀之

四月十七日於笠置寺福城院奉讀之

第三卷 同日於同處奉讀始見之

同月廿二日於笠置寺福城院奉讀之畢

第四卷 同日奉讀之

四月廿四日於笠置寺般若院奉讀之

第五卷 同廿五日於同處奉讀之

四月廿七日於笠置寺般若院奉讀之

第六卷 同日於同處奉讀見之

第十六卷 經依先之此第六内奥二紙不奉見之

五月六日於般若院自南都奉迎第十六内奉見之

年 月 日

昭和 年 月 調

P

第七卷

五月一日於笠置寺般若院始之、
但第十六局經依卷也、

端六紙、不見求公經之後、必可奉見之也、
同六日見入之了、是即昨日五日自南都奉
取寄御經故也、

五月五日於笠置寺般若院奉披見畢、

第八卷

同日於同處奉始之、

五月十日於笠置寺福城院奉披見之了、

第九卷

同日於同處始之、

五月十一日於笠置寺福城院奉見了、至當弓末為氏

菩薩之慶、殊致信心加一見了、願以此結緣功德、為彼

尊尊值遇之業、願行不空、必令得成就、給五十五聖重哀

年 月 日
昭和 年 月 調

(年譜)

宗性上人資料集原稿

5
10
15
20
25
慈善財童子、施加被今生中、必獲一念信心、定期三會
得脫、乃至法界、平等利益了、

第十卷 同日於同處始之、

南無大聖文殊師利菩薩相構令起一念信心、給
南無花嚴經中一切三寶相構一念深重信心、七候、
經第四十司之處、要文、如別紙抄之非畧了、

(與書)

寬元々年五月十四日 甲 於笠置寺福城院結願之了、
自去四月五日、至今月今日前後三十九日也、此間或東大寺
戒壇院、或笠置寺般若院并福城院於此處三處、雖非不
交余事、又無退墮一部十司一見已了、雖不行其義現理

年 月 日
昭和 年 月 調

P

(年譜)

宗性上人資料集原稿

見懷其德深、生涯思出何事和之、夫一極唱高、二衆聽絕、實非
宿因、何遂此功深、為悅、尤可幸、願以此功德、為弟尊值、遇勝
業、一期終焉之夕、必詣四十九重之寶閣、三會成道之朝、定預
五十五聖之教化、^乃至功德所及、普為法界、始父母、師長、恩愛
知識、至盡虛空界、一切郡類、平等迴向、稱法性善根、何處不
至、廣大如法界、究竟如虛空、早雖三途人難之、苦域受人、^非
中天上之勝力、身蒙五十五聖之引接、詣安養兜率之淨刹、
忽遂見佛、聞法之望、各預住行向地之望、益雖善願無邊、大概
在之、仰願花嚴海會一切三寶、哀愍弟子、愚願令得成就而已
抑將飛願之始、詣生焉、又殊志、奉擬十信初心之知識、已
結願功了、又可參之由、啓之、願表智照者、二相之善友、今年之
中、必可參詣者也、出自彌勒嚴居、詣文殊寶刹、自似善財

年
月
日

昭和
年
月調

P

修行次第以之、即遂彼修行矣、

(喜甚也)。實弘自筆。

四十經疏要文

略々

沙門賴釋、實弘

實弘三年五月十四日抄之了。

年
月
日

昭和
年
月
調

(年譜)

宗性上人資料集原稿

15-3

113

163

号
册

P

〔離世間品疏演義鈔尋求抄〕

（表題）宗性自筆

○冊子本

113
163
1

離世間品疏演義鈔尋求抄

沙門釋實弘

（内題）

〔疏演義鈔尋求抄〕

5

10

15

20

25

（年譜）

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月
調

15-6

113
國
163
号
1
冊

P

(端書)

建長四年探玄記卅構字履肉之

建長四年宗卅構實34肉度重

〇但之肉答ノ時又ハ啓ス。マタ本書ノ奥書ナシ。

5
10
15
20
25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

155

113
國
164
号
2-1
冊

P

〔疏演義鈔略要文〕
(表題) 〇宗性自筆

〇冊子本

113
164
2-1

疏演義鈔略要文第二

沙門釋實弘

(内題)

疏演義鈔略要文

寛元四年正月廿一日始之

年
月
日

昭和
年
月
調

5
10
15
20
25

(年譜)
宗性上人資料集原稿

P

(奥書)

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

疏四上

正月廿四日於知足院菴室奉讀之。

疏四下

同日於同處讀之。

鈔十上

正月廿七日於知足院菴室奉讀之。力十九竟

鈔十下

同時於同處奉讀之。

疏四下

二月八日於知足院草菴奉讀之。

第四會了竟 經第廿二竟

疏五

鈔十二上

二月九日於知足院草菴奉讀之。

疏五上

鈔十二上

四月廿三日於知足院奉讀之。力五回向

疏五下

鈔十二下

同月廿四日於知足院奉讀之。

抄十二下

同四月廿八日於知足院奉讀之。

疏五下

五月六日

時於知足院草菴奉讀之。力五會了
經第廿三了

年
月
日

昭和
年
月調

15-17

113
函
164
号
27
册

P

年
月
日

昭和
年
月
調

(年譜)

宗性上人資料集原稿

疏六上 同月同日時於同慶奉讀始之、
鈔十三上 五月十三日時於知足院其草卷奉讀之、
鈔十三下 同日時於同慶奉讀始之、
抄十三下 五月廿二日時於知足院其室奉讀終了、
鈔十四上 同廿三日時於同慶奉讀始之、

○但し、本書ヲ抄出シ終リシトキノ奥書ナシ。

158

113
國
164
号
2-2
冊

P

〔疏演義鈔略要文〕
四

(表題) 宗性自筆

〇冊子本

113
164
2-2

疏演義鈔略要文第四

沙門釋實弘

(奥書)

疏演義鈔略要文

疏九上
鈔十九上
寛元四年十月廿二日
甲於知足院
菴室奉撰
相之

年
月
日
昭和
年
月
調

(年譜)

宗性上人資料集原稿

P

(年譜)

宗性上人資料集原稿

欽十九上 十月廿七日夜時於知足院菴室奉讀始之

欽十九下 同夜時於同處奉讀始之

疏九上 十月廿九日時於知足院菴室奉讀終之

疏九下 十一月二日時於知足院菴室奉讀始之

欽十九下 十一月八日時於知足院菴室奉讀終之

欽二十上 同時於同處奉讀始之

疏九下 十一月十一日時於知足院菴室奉讀終之

疏十上 同十二日時於同處奉讀始之

疏十上 欽二十上 十一月十六日時於知足院菴室奉讀終之

疏十下 欽二十下 同十七日時於同處奉讀始之

(奥書)

寛元五年正月八日夜時於知足院菴室奉讀之畢

年
月
日

昭和
年
月
調

P

抑自去歲元三年正月一日、至于同五年正月八日、首尾三
年之間、疏演義鈔一部、披讀其功既畢、雖不得其深義、微功又
不淺、願以此娑婆忍土、貝闍種子、必為彼花莖世界解行生因
經王哀憐、懸諸佛施加護、願行不空、定令得成就矣。兼又始
自今生四思知識、至于微塵刹土、含識平等迴向也。皆到九層
寶座、共成十佛正覺、皇惟三部義疏、一見大願、今日今夜已果
云、今生界思出何事如之欽、設滿三界大千之珍寶、願不半
倡直、既百八十卷之真文欽。
猶拈恒河沙數之身命、咒春秋三迴之微功哉。倩願
宿習之厚、感歎之恩、幾千萬遙邇、當果之大歡喜之心、滿
六情、深可喜也。

于時

華嚴沙門、實弘

年十一歲
年廿七

年
月
日
昭和
年
月
調

(年譜)
宗性上人資料集原稿

161

113
函
164
号
2-2
册

P

年
月
日

昭和
年
月
調

南無大方廣妙佛華嚴經生々世々值遇頂戴

5
10
15
20
25

(年譜)
宗性上人資料集原稿

162

113
165
号
1
册

P

合海抄

○冊子本

(表題) 宗性自筆

113
165
1

合海抄

沙門釋實弘

丙題

合論鈔

實元五年三月二日發於知足院奉讀始之

○但し、本書ノ奥書ナシ

年
月
日

昭和
年
月
調

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

163

113
國

166
号

1
冊

P

〔華嚴字大要抄〕

(表題) 宗性自筆

○冊子本

113
166
1

華嚴字大要抄

沙門釋智賢私

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月
調

(宗性上人研究会)

P _____

(表題)

・實弘自筆

5

(年譜)

10

15

20

25

宗性上人資料集原稿

花嚴大要鈔

仁治三年撰之

沙門釋實弘

〇但し、本書、奥書ナシ、

年
月
日

昭和
年
月調

165

113
函
167
号
1
册

P _____

〔大方廣救〕

○冊子本

(表題)

大方廣救

沙門釋實弘

。但し本書ノ奥書ヲスル

113
167
1

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

166

113
國
168
号
1
冊

P

〔管見肝要抄〕

(表題) 宗性自筆

管見肝要抄

〇冊子本

113
168
1

沙門釋實弘

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

(宗性上人研究会)

P

(表題) 庚辰自筆

5

10

(年譜)

15

20

25

宗性上人資料集原稿

建長元年六月始之

管見所要鈔

沙門心海

(奥書)

建長元年六月廿八日以東南院經藏本抄寫之

右兩ヶ事聊有存存一為々馳筆了

但し、附作 本書、奥書ナシ

年 月 日

昭和 年 月 調

P

(表題) 宗性自筆

法華經光宅疏抄

○冊子本

113
169
2-1

法華經光宅疏抄 序品之處
自四眾圍繞至弥勒發向長行終

沙門釋實弘

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

P

(表題) 実弘自筆

建長四年二月書得之

法花經光宅疏披出
自四衆圍繞至弥勒飛回長行終

沙門實弘

但之本書ノ奥書ニ付テ

年
月
日

昭和
年
月
調

(年譜)

宗性上人資料集原稿

1170

113
國

169
号

2-2
冊

P

〔法華經光宅疏抄〕

〇冊子本

113
169
2-2

(表題) 〇宗性自筆

法華經光宅疏抄
卷二
中二
卷二

沙門釋實弘

(年譜)

宗性上人資料集原稿

5

10

15

20

25

年
月
日

昭和
年
月調

197

113
169
2-2
冊

P

(表題)

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

建長四年二月之比被之

光宅疏梅義被中三弓之處

沙門實弘

(端書)

建長四年提井房卅構、實弘同良忠大律師

建長四年提井房卅構實弘同良忠得業

〇但し、本書ノ奥書ナシ

年
月
日

昭和
年
月
調

113
國
170
号
1
冊

(年譜)

宗性上人資料集原稿

5
10
15
20
25

〔玄賛并撰釋要文抄〕

○冊子本

113
170
1

(表題) 宗性自筆

玄賛并撰釋要文抄

沙門釋實弘

(内題)

玄賛并撰釋要文 家畧

〇但し本書ノ奥書ナシ

P

年
月
日

昭和
年
月調

P

〔大圓抄〕

(表題) 宗性自筆

〇冊子本

113
171
1

(年譜)

宗性上人資料集原稿

大圓抄
方便品
奥倡處

(内表紙) 〇奥弘自筆

沙門釋實弘

建長六年有書寫

大田抄第四
方便品
奥掲處

沙門釋實弘

年
月
日

昭和
年
月
調

P _____

(内題)
法花大田抄第四 方便品奥書處

(端書)

實喜二年大井房州構定度問藏田

○但乙内卷ノ要文ハ略ス

(奥書)

建長六年二月十九日、於知足院別處、以大進律師

藏田
之本書厚之了

沙門釋實弘

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年 月 日

昭和 年 月 調

113
國
172
号
1
冊

P

〔大疏上卷寶勝殘義抄〕

(表題) 宗性自筆

〇冊子本

113
172
1

(年譜)

宗性上人資料集原稿

大疏上卷寶勝殘義抄

(裏題)

相傳澄藝
相傳隆賢

沙門釋實弘

年
月
日

昭和
年
月調

P 1

(内表紙) 〇 実34自筆

實勝殘義抄上疏

正應元年二月廿三日始之

沙門實34

(内題)

大疏上卷 實勝殘義抄

(奥書)

因明論大疏上卷

正應元年三月六日 西於勝願院奉對

三位僧都御房奉習了 自去月廿二日至今日六日首

年 月 日

昭和 年 月 調

(年譜) 宗性上人資料集原稿

P 2

(年譜)

宗性上人資料集原稿

尾十五
又希有謬正旨者以之用後見不審矣
5
10
15
20
25

功内實弘
生年十九
夏曆三週

願以此功德迴向更率業
臨終住正念
往生弥勒刹

南無當来導師弥勒尊

(墨筆)
相傳澄雲

年
月
日
昭和
年
月
調

113
函
172
号
1
册

P /

〔大疏義断文集〕

(表題) 宗性自筆

○冊子本

113
173
1

大疏義断文集

沙内釋實弘

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

P 2

(表題)・庚辰自筆

(年譜)

宗性上人資料集原稿

此應元年二月廿二日始之

因明大疏義斷文集
墨極

沙門實弘

(内題)

因明大疏卷上文集

(奥書)

此應元年四月一日集之了、此所集之必不備藏就本、

只當時盡去指要存清略所撰也、

年
月
之處

昭和
年
月調

P 3

(年譜)

宗性上人資料集原稿

5

10

15

20

25

欣求與率沙門實弘

願臨終正念

值遇善知識

稱念弥勒名

上生内腹中

(内題)

寫要

義斷

(與書)

延應元年四月晦日、於勝願院集之畢、願以此微功、
普施於群生、我共心、生與率内院、速證天上菩提

欣求與率行者

沙門實弘

年
月
日

昭和
年
月
調

113
173
号
1
册

P 4

年
月
日

昭和
年
月
調

南无堂来導師 弥勒慈尊
慙愧懺悔 六根罪障



面
宗性上人資料集原稿

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

P

(表題)

【首至要義斷竅勝殘義拔】

○冊子本

113
1174
/

(年譜)

宗性上人資料集原稿

首至要義斷竅勝殘義拔

(墨筆)

相傳澄菴
相傳隆賢

沙門釋實34

年
月
日

昭和
年
月調

P 2

(内表紙)

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

延應三年四月二日相之

實勝殘義
義斷
實要

功内實弘

(内題)

實要
唯勝殘義抄

(奥書) 宗性自事

實要抄出

端、實弘公記録之而彼能、依所勞、當時不

管古之間、勵拙情抄出之、其時延應三年

年
月
日

昭和
34年6月調

P 3

(年譜)

宗性上人資料集原稿

四月十三日 戌時 始之

○但し、本書中二、宗性ノ自筆多ク、文ハ

(與書) ○宗性自筆

延應三年四月二十一日 子時 於勝願院被之了。今日奉對

上綱讀寫要了。仍處々不審所警之也。後心可清書之。

抑實34所勞渴減減、身軀被本、自今日又付學内、是偏

春日權現之冥助也、可悅可幸。其上讓于彼賢才、可誂

令被出愚昧之訖録、甚雖無其誼、寫要習學、今日功訖之、向

懇指事、向答耶取要記録了。後覽之輩、勿嘲之矣。

右筆花嚴末葉堂撰宗性

年 月 日

昭和 年 月 調

(與書) 弘安四年四月廿一日

算要談義 延應三年四月廿一日了

抑此算要者、今月二日被懷妊、而己滿御房、依御京上自

三日至九日、退轉又自十日被始懷、弘安四年四月十一日而日付之

了、自十二日至廿日、依持病更發、為難療治、引居水内、边九

日之間不時之薄福之条歎而有余者也、然間已滿御房御筆

被加之、廿日今月廿一日即結願日也、遂日又付之於算要者

一日、无如不時付、今學生界當恨、只有此事、但全生命蓋終

法命

沙門實弘

(丙題)

義斷

唯勝義教

P 4

年
月
日

昭和
年
月調

(與書)

近應之午卯月晦日義斷之殘義了。自今月廿一日始之。
首尾十午日也。如大疏三司纂要義斷六十一午日被談義
不遇外早速也。此內大疏三司并義斷就之。
於纂要者依所勞不就之。

抑以此功德併圓而內院上生業。仰願大聖尊垂哀愍陳
那天主等施加獲必令遂臨終正念上生內院毒懷。四十九
重之內於因明習學。願望殊相應感應何。爰又以此善
根始今生父母親類至七世恩處知識乃至三界六道受苦衆
生十方無盡元益群類普作拔苦予身出離生死利益矣
願以此功德普及於一切。我等及衆生皆共成佛道。
南無十方諸界一切三寶。自他諸界平等利益。

P. 6

(年譜)

宗性上人資料集原稿

5
10
15
20
25

今度改葬还衆

已備中房

勤忍房

賢思

蓮田房

訓藝

千永房

陳藝

某師寺

禪堂房

土佐公

寅弘

今日奉對上綱奉受入正理施了。

其衆除勤忍房以外皆以受之了。

欣求内院行春沙門寅弘

生年十九
夏曆三週

年
月
日

昭和
年
月
調

P 7

(家老)

寶勝義技
義所

進正右之年四月晦日技之了。

(異事)
相傳澄藝

欣求受率以所實弘

5
10
15
20
25

(年譜)
宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月
調

P /

〔圓覺修證義要文〕

〔表題〕。宗性自筆

〇冊子本

113
175
1

(年譜)

宗性上人資料集原稿

圓覺修證義要文

沙門釋廣弘

〔與書〕

圓覺修證義要文

西廣治三年正月十六日於梅尾抄姐之

圓覺略疏鈔要文

寶治三年三月十日申時於梅尾續姐之

年
月
日

昭和
年
月調

P 2

略敘三之丁テ

續三

寶治三年三月十日

今度依無日數不終其功代後可畢此願矣

〇但し、本書抄出終時、奥書ナシ。

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

113
函
176
号
3-1
册

P 1

圓覺經大疏抄要文上

○冊子本

113
176
3-1

(表題) 宗性自筆

圓覺經大疏抄要文上

功内釋實弘

(奥書)

圓覺經大疏大鈔要文

寶治三年正月廿四日鈔畢

年
月
日

昭和
年
月
調

(年譜)

宗性上人資料集原稿

欽一末

正月廿八日奉讀之了。

欽二本

○中略二月三日於梅尾奉讀之了。

欽三末

○中略同日於同處奉讀始了。

欽二末

○中略二月五日於梅尾奉讀之終了。

欽三本

○中略同日於同處奉讀始了。

○中畧

欽三本

○中畧二月六日於梅尾奉讀之了。

欽三末

同日同時於同處奉讀始了。

○中畧

欽三末

二月十日西於梅尾抄之了。

欽四本

二月九日於梅尾談始了。

○中畧

年
月
日

昭和
年
月
調

(年譜)

宗性上人資料集原稿

25

疏上本⁵
欽四本¹⁰二月十五日時抄之¹⁵續

疏上末
欽四下
同日同時讀之

欽四下
二月十五日讀之

欽五上
二月十五日讀之

○中畧

欽五本
二月十八日時於梅尾奉讀之畢

同末
同日同時奉讀之

○中畧

欽五末
二月十九日時於梅尾讀之畢

欽六
同日同時讀之

○中畧

疏上本
欽六本
二月廿一日於梅尾讀終之

年
月
日

昭和
年
月調

P 4

〔圓覺經大疏抄要文〕

中

○冊子本

113
176
3-2

(表題) 宗性自筆

圓覺經大疏抄要文中

沙門釋實弘

(奥書)

寶治貳年三月十日己時於梅尾抄之了

願以此書寫結緣之微功必解彼四覺妙典之奧旨
奉值遇一宗之列祖普濟度三界之群迷矣

年 月 日
昭和 年 月 調

113

國

170

号

3-2

冊

P 5

年
月
日

昭和
年
月
調

釈迦牟尼無上大覺世尊遺弟

永九心象
戒土龍

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

(宗性上人研究会)

5

10

20

25

圓覺經大疏提要文下

○冊子本

113
176
3-3

(表題) 宗性自筆

圓覺經大疏提要文下

功内釋實34

(内題)

大方廣圓覺經疏卷中之上

○中畧

經善眼章7尺 鈎ハ今末ニ當思

二月廿日讀燈之

鈎之末 二月廿日 晒於梅尾續之畢

年 月 日 昭和 年 月 調

P 2

欽七本

同日同時於同處讀之。

○中畧

欽七本

二月廿四日 晒於梅尾談之畢

欽七末

二月廿五日 申於梅尾讀之畢。

○中畧

欽七末

二月廿六日 於梅尾讀之畢。

欽八本

同日於同處讀之。

○中畧

欽八本

二月廿六日 於梅尾讀之畢。

欽八末

同日於同處讀之。

○中畧

欽八末

二月廿九日 抄之了。

年 月 日

昭和 年 月 調

(年 譜)

宗性上人資料集原稿

(年譜)

宗性上人資料集原稿

疏中末 鈎九本 二月廿九日抄始之。

○中畧

鈎九本 三月一日時於梅尾奉讀之畢。

鈎九本 同時奉始讀之。

○中畧

鈎九本 三月一日時於梅尾奉讀之。但外典事

多之。仍不得讀之。

鈎十本 三月一日時於梅尾始讀之。

鈎十本 三月一日時於梅尾讀終之。

鈎十本 同時讀始之。

○中畧

鈎十本 三月二日時於梅尾讀之畢。

年 月 日 昭和 年 月 調

P 6

欽十一本

同時讀始之

○中畧

疏中末

欽十一本

三月三日夜時丑於梅尾讀之畢

(題)

圓覺經大疏大欽要文 三月四日於梅尾讀始之

欽十一本

三月四日夜時亥於梅尾讀之畢

欽十二本

同時讀始之

○中畧

欽十二本

三月六日時申於梅尾奉讀之畢

欽十二本

同時讀始之

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月
調

P 5

(年譜) 宗性上人資料集原稿

疏下本 三月六日終於梅尾讀之畢
疏下末 同時讀之

○中畧

欽十三下 三月七日終於梅尾讀之畢
欽十三上 同時讀之

○中畧

欽十三本 三月六日終於梅尾讀之畢
欽十三末 同時讀之

(與書)

(四款)

寶治三年 三月十日時抄此帖了
抄於西山梅尾
自去二月廿四日
至今月八日首尾四十四日之間大疏三局
南本末大抄十

年 月 日 昭和 年 月 調

10

15

20

25

三帖^{亦南本末}合三十二帖引見之次、至要之處、力々抄出之。

抑今疏抄者、括一代聖教、大綱而用、且三世諸佛心源、

示三觀四融妙理、除一切衆生醫患罪障懺悔方法、

窮三期道場之非則、修行入證要、^盡廿五輪之廣

談、八殘三性之經、瑜珈唯識性教無遺、四融相節之理、

花嚴天台奧旨、拂底加之禪道而教、以乘諸部、窮曲

盡妙、而奪其大邪、處一許、正、迦西天立教、東土禪宗

傳去、習、肆、其偏執之人、顯中真、法、可習衆

生入終正路、諸佛常在宮殿、可思生死廣海、般筏、涅槃

槃大城之海、師披之、渴仰思徹骨得之、感悅意斷腸

願生之傳、隨、遂此法、常受吾祖芳誠、乞世々值遇

今典鎮施、厚生義利、一見隨功淺、誠心既擲、重臨進

年
月
日

昭和
年
月
調

113
176
号
3-3
册

P 7

年
月
日

昭和
年
月
調

(年譜)

宗性上人資料集原稿

廻知見

5
10
15
20
25
令成就心中善願
四週共利益
三利同修之故自

華嚴末葉釋尊種子心象

春秋千人
夏曆十二週

113
函
177
号
1
册

P /

圓覺經心鏡要文

(表題) 宗性自筆

〇冊子本

113
177
1

圓覺經心鏡要文

功内釋實弘

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月
調

(裏表紙) 〇 冥弘自筆

圓覺經心鏡要文

建長三年十月之比抄之

沙内 冥弘

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月
調

P 3

(内題)

田覚經心鏡鈔出

建長三年十月八日夜成時娘讀之
凡此心鏡者之性文也、皆鈔述也、仁經寺御本

(奥書)

心鏡一部六卷申出用田御本一見之了。

建長三年十月十二日記之

动内心海

(年譜)

宗性上人資料集原稿

P /

〔替綱経香象疏文集〕

○ 冊子本

113
1178
1

(表題) 宗性自筆

替綱経香象疏文集

边内釋實弘

(内表紙) 宗性自筆

替綱経疏文集

香象大師
土中下

仁治四年正月廿五日

始之

華嚴末葉沙内實弘

年
月
日

昭和
年
月
調

(年譜)

宗性上人資料集原稿

梵網經疏文集

上卷 字家

仁治四年正月廿一日續始之

(奧書)

二月三日 上卷奉懷之了。

同四日也了。
盜戒了。

自七月廿八日至今日首尾

同四月中卷奉談始之

○
中署

二月八日奉安義了、首尾五日也、十里禁了。

願
歸
佛
梵
教
網
必
生
生
死
大
海
駕
淨
戒
寶
車

新舊雜書

至卅卅宮城、重乞愆無始罪、拈持无垢垢淨戒、今受

年
月
日

昭和
年
月調

5

10

15

20

25

苦衆生得安隱扶樂共詣兜率天常值慈氏尊尊焉

(内題)

下卷

自八日未時奉煖始之
四十八輕

(奥書)

仁治四年二月十八日時甲於東大寺西塔院抄之了

未決事等是多近日梅尾彦龍之次子裁林房必可

散之者也下寫自八日至今日十一日之間奉煖義

畢自廿七日三卷煖義遂其功畢

結衆

上綱

聖壽房

印田房

順良房

順觀房

寅相房

行願房

賞地房

寅弘等也

年
月
日

昭和
年
月調

P 4

抑戒是聚善之源万行之基也、幸明善友遂此微功深可
悦、願以此功德資見佛聞法之勝業、業成佛得道之良
因、一期終焉之刻、必預尊卑迎、遂與率內、隨上生之望、三祇
修行之終、定呈菩提樹下施一切衆生成佛之益、乃至始今生
四恩至法界群類、善願滅罪生善之巨益、共遂出離得脫之願
望耳

願以此功德 普及於一切 我等衆生 皆悉成佛道

華嚴沙門 庚子 生年廿三
戒臘七週

年 月 日
昭和 年 月 調

113
179
1
冊

P /

(表題) 宗性自筆

梵網經古迹聽聞抄

〇冊子本

113
179
1

梵網經古迹聽聞抄

沙門釋實名

年
月
日

昭和
年
月
調

(年譜)

宗性上人資料集原稿

(内表紙)・実弘自筆

(年譜)

宗性上人資料集原稿

延應二年六月十八日始之

古迹聴聞録

沙門実弘

○但、本書の内容ナリ

(奥書)

延應二年六月廿九日於東大寺中聴録之了

抑今此古迹談義有自十八日被始之至廿四日其功了

首尾一七ヶ日也、依宗春房勸進共尊勝所被談也、續

師

聖解房初八知是房

其間聊難得意所、任彼聖解房、

年
月
日

昭和
年
月
調

5

10

15

20

25

義所推置也、定謬多矣、雖然十分之一ナリトモ若有稱彼
義者、以此為散彼不害所口口、願以此功德令生ハ戒
品堅持於十重六八無所違犯後生兜率天ニ、指於四十九
重遊戯自在、乃至久歷三大僧祇修業、普度五道流轉
有情速證三種轉依妙果廣演說人天威儀矣、
干時今年及四十个日立華用經雨不降五十余年此經、旱
魃无ナレト申合多然間諸寺諸山巖泉窟泉祈雨勤極其去
底、然而殆似無其益而昨日サハ日興福一寺諸衆面持齋
一日中書寫大般若經一部六百卷、於金堂前以千僧
遂供養、其供養最中導師登高座之後、不歇自辰巳角、黑雲
漸出現時程遍大廬大雨忽下、其間半時ニ自幼至長自
賤至貴皆仰法威力、各至堅固信心、實是希代勝事也、
下

P 4

雖末世法威力如此誠感應有无可依功淺深及雖斷善人見
此并勝利蓋信三寶可信之可貴、

當寺主最勝王經一日書寫供養時大雨忽下以目前不可悅
也此^外三十余日之間一切^雨爾來口

淡義聽衆

尊勝陀師房

已構師房

淨眼房得業

實弘

明福寺一日大般若供養導師

光明陀師印

賞適

當寺一日最勝王經供養導師

民部卿已構

宗性

年
月
日

昭和
年
月調

P /

(表題) 宗性自筆

見聞覚知抄

華嚴
俱全

○冊子本

113
180
1

見聞覚知抄
華嚴
俱全

沙内釋實34

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

P 2

(内表紙) 〇実弘自筆

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

仁治三年十二月日

見聞覚知鈔宗
俱全

華嚴末葉善子有厚実弘

〇但し、本書ノ奥書ナシ

年
月
日

昭和
年
月
調

P 3

(紙背文書)

僧細

傳燈大持師位辨曉
萬年

華嚴宗 東大寺

右依

宣旨請定明年宮中金光明講師如件

義安三年十二月廿九日

從儀師實口

威儀師覺口

僧正「花押」

權僧正「花押」

權僧正

權僧正

年
月
日

昭和
年
月調

(年譜)

宗性上人資料集原稿

P 4

權像正

法印權大像部

法印權大像部

法印權大像部

〇 崇久

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月
調

113

181

2-1

冊

P /

(表題) 宗性自筆

俱舍論第十四卷三十講聽聞集

○冊子本

113
181
2-1

應係之年 建永元年 嘉祿三年

俱舍論第十四卷三十講聽聞集

沙門釋廣弘

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月
調

P 2

(内表紙) 〇 庚子自筆

建永元年

應保元年

嘉祿三年

俱舍第十四卷聽聞集

沙門實弘

(内題)

應保元年十一月十六日於貞元房被始行恒例卅講日記

俱舍論 第十四卷

年
月
日

昭和
年
月調

(年譜)

宗性上人資料集原稿

P 3

(端書)

顯敏向珎範

實融

并勝向實融

珎範大々

尊繼向良幸

尊佐

庄詮向義仁

實仁

玄仁

隆祐

尊勝向賴超

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月
調

I-4

「定傳十九号」

「隆祐」

「度宗肉實縁」

「教額」

「持海同教祐」

「實海」

「顯海肉實俊」

「顯實」

「玄樹肉實實」

「口尊苗」

「度俊」

「賢延肉實惠」

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月
調

P 5

「寛政」

「長崎由寛勝」

「玄恵」

「真珠岡藏詮」

「暹崎由毅恵」

「藏詮」

「顯更」

「華俊岡顯更」

「仁玄」

「慶縁岡林恵」

「教寛」

「行新問教観」

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

P 6

林惠

勝海閣範賀

俊海

顯慶岡俊海

範賀

并惠岡賢清

慶吉

並海岡并深

賢珍

章珍岡賢珍

并深

廣仁岡澄原

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月
調

P 17

顯珙内覺雄

暹海内宗珙

覺尹大法師

行尹内覺実

宗珙

(奥書)

永久三年十月十日於東大寺敷設西時被書之了

為當年廿構也

内聖禪一云

建長三年十月四日於東大寺南水内書之了

雖近為今年廿構、遠為當年三并因矣

内實弘生年廿一
戒鵬十五

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

P 8

恒例俱舍卅講日記

建永元年十月十二日於尊勝院被始行

被談俱舍論第十四卷

(端書)

「賴勝肉并修」

「顯照」

「新良學肉顯照」

「并覽大」

「乾華肉顯永」

「顯秀」

「勝如實肉顯秀」

「緣永」

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月
調

P 9

(年譜)

宗性上人資料集原稿

5

10

15

20

25

新善俊内永嚴

定遍

公明内宗遍

永嚴

新隆性内良辰

藏田

重海内藏田

貞辰

新禪内同教寺

顯覺

定禪内顯覺

教寺

年
月
日

昭和
年
月
調

113
181
号
22
25

P 60

新長耀由増玄

光喜

頼升由光喜新

増玄

良恵由道仁

章田

朝心由章田

道仁

貞運由重行

永詮

新印覺由永詮

重行

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

(宗性上人研究会)

P 11

蓮秀内田

長井

順度内長井

田

範禪内義海

定度

早範内定度

義海

恵什内樹度

覚勝

樹度

玄深内榮範

(年譜)

宗性上人資料集原稿

5

10

15

20

25

年
月
日

昭和
年
月調

P/2

「章親」

増康内「章親」

「深乾」

「聖準内勝範」

「道曉」

「行幸内道曉」

「勝範」

「尊忍内貞実」

「美性」

「重賢内行嚴」

「寛隆大」

「勝并内道澄」

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

P 13

勝并肉賞證

行嚴

(與書)

嘉久三年十月人日於東大寺鼓坂房滿首時許著之
末者為佛法興隆乃修學不怠也 執筆沙門聖禪書之

(内題)

(尊方)

嘉祿三年正月廿三日於東勝院華師堂被招行恒例俱居

廿構内答日記

被構法花經并南結二經

但經論義略之

被談俱舍論第十四、十五局

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年 月 日

昭和 年 月 調

113

181 号

27 册

P 14

(端書)

教解新

光喜

順惠

円顯

円顯

経解新

勝升

貞解

惠解

無量義經講師

光喜大律師

南畝原深法師新

互為定覺、

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

P 15 .

定田
慶算
君去
皇範
定座
采範
盛辨
義慶
幸源
口忠
慶專新
去判

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

113

181
号

2-1
册

P16

性并
祐度
祐度
重并
度重
澄并
頼并
信通
顕誉
栄勇
田并
度并

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

(宗性上人研究会)

113

兩

181

号

2-1

冊

P 117

印 賴 麦 光 觀 智 惠 聖 庄 信 廣 成
標 尊 禪 度 田 解 胤 禪 勇 盛 延 峯

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年

月

日

昭和

年

月調

113
181
21
冊

P 18

増全
於智円
明教
寛善
寂教
定意
俊度
俊度
隆庚
幸勢
隆定
信禅

年
月
日

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

昭和
年
月調

(宗性上人研究会)

P 19

(年譜)

宗性上人資料集原稿

勝快

實覺大

覺惠

~~本與書~~

(本與書)

于時嘉禎三年正月廿八日結願卷達了、抑此三十講若去年
分也、而去嘉禎元年之比、與福壽與官寺相梅之事出来之間
然訴之年、雖經奏聞聖斷取非本望、因茲及神明之進發企
衆徒之參洛、雖及兩年之鬱訴不能一事之裁許、然向神木者
当北漂岸治之波濤、衆徒者歸南烟山林之雲霞、四所之社檀
忽塞礼奠之道、七寺之精舍同忘香花之勤、此故聖皇警
聞、備言頻下、早内七寺之門戶、可仰教心之勅許云、仍雖用
寺門聖斷、非衆望之間、聖内寺社、亦企鬱訴、是以南都衆徒

年
月
日

昭和
年
月調

P 20

(年譜)

宗性上人資料集原稿

者構城固於金堂、猶達三千一味之本所、東國軍兵者致警固
於和州、依為用五社七堂之內、戶專弄他寺、同塵俗家、拋鑽仰
之勤、有情無情、同閑禪室、致離散之企、不退神祭、多以退轉恒
例、佛事同又違例而勅許、雖未分明、及霜月、開弄門、雖烈日、最
莊近、暫古無暇之間、兼以次年正月廿三日、被始行了、為後覽
之不審、聊記云。

梅義書花嚴字長忠

(與書)

建長三年十一月十六日夜、東大寺南水門於燈下
馳筆了。

沙門庚辰生年廿一
初十五歲

年 月 日
昭和 年 月 調

113
181
2-2
冊

(年譜)

宗性上人資料集原稿

5

10

15

20

25

俱舍論第十九卷三十講聽聞集

○冊子本

113
181
2-2

(表題) 宗性自筆

肆

康久四年

義元二年

俱舍論第十九卷三十講聽聞集

沙門釋實弘

P /

年
月
日

昭和
年
月
調

俱舍論第十九問答日記

(端書) 榮念

本

治承三年

建久四年十二月十六日

興尊

本

建久四年

定實

本

建久四年

定實

本

建久四年

叔旌

本

建久四年

叔旌

本

建久四年

重慶

本

建久四年

賞隆

本

建久四年

景兼

本

建久四年

印賢

本

建久四年

顯運

年
月
日

昭和
年
月
調

(年譜)

宗性上人資料集原稿

P 3

年
月
日

昭和 年 月 調

5

10

15

20

25

（年譜）

宗性上人資料集原稿

25

本
建
久
四
年

海深

本
達
久
四
年

正真

達久四年 堯慶

本 建久四年 永隆

本
建久四年
永祿

本建久四年尊性

本建久四年尊旌

本建久四年 兼賢

和建久四年 宴信

本
建久
岸
宴信

本建久岸 貞辰

和建久四年 貞辰

P 4

年
月
日

昭和
年
月調

本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
建	建	建	建	建	建	建	建	建	建	建	建	建
久	久	久	久	久	久	久	久	久	久	久	久	久
四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
嚴	田	田	田	教	惠	華	賢	賢	貞	增	澄	
暉	慶	慶	銀	玄	海	海	愛	愛	禪	蕭	雅	
			殿									

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

113
國
181
号
22
冊

P 5

年
月
日

昭和
年
月
調

本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
建久四年	建久四年	建久四年	建久四年	建久四年	建久四年	建久四年	建久四年	建久四年	建久四年	建久四年	建久四年	建久四年
貞兼	田宗	田宗	貞庚	貞庚	度并	度并	樹度	樹度	俊印	義海	義海	

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

113
181
号
2-2
冊

P 6

年
月
日

昭和
年
月
調

本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
建	建	建	建	建	建	建	建	建	建	建	建
久	久	久	久	久	久	久	久	久	久	久	久
四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
親	親	定	定	定	忠	忠	長	緑	緑	貞	貞
遠	遠	度	度	信	賢	賢	真	永	永	尊	尊

5
10
15
20
25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

P 7

本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
弟	弟	弟	弟	弟	弟	弟	弟	弟	弟	弟	弟
元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
朝兼	朝兼	口仁	喜海	増元	禪印	頼恩	田顯	田顯	頼縁	智彦	定成

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

113

四

182/81

号

2-2

册

P 8

年
月
日

昭和
年
月
調

本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
兼元二年	兼元二年	兼元二年	兼元二年	兼元二年	兼元二年	兼元二年	兼元二年	兼元二年	兼元二年	兼元二年	兼元二年	兼元二年
景範	重禪	淨澄	兼信	隆性	賞縁	頼兼	田貳	辰龍	尊忍	尊忍	尊忍	尊忍

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

P 9

年
月
日

昭和
年
月
調

本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
弟	弟	弟	弟	弟	弟	弟	弟	弟	弟	弟	弟
元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
定	蓮	光	貞	寛	定	定	藏	抄	牧	朝	
禪	秀	曉	俊	海	慶	慶	海	慶	慶	心	

5
10

(年譜)

15

20

25

宗性上人資料集原稿

113

國

181

号

2-2

冊

P 10

年
月
日

昭和
年
月調

本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
兼之三年	兼之三年	兼之三年	兼之三年	兼之三年	兼之三年	兼之三年	兼之三年	兼之三年	兼之三年	兼之三年	兼之三年
藏詮	良言	順言	順言	通源	通源	貞運	勝範	勝範	順度	順性	隆慶

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

113
181
2-2
冊

P 11

年
月
日

昭和
年
月調

本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
弟之二年	弟之二年	弟之二年	弟之二年	弟之二年	弟之二年	弟之二年	弟之二年	弟之二年	弟之二年
聖尊	再昇	長昇	藏田	藏田	貞実	實喜	實喜	炎喜	玄軌

5
10
15
20
25

(年譜)
宗性上人資料集原稿

P/2

(與書)

嘉祿四年八月廿二日於三輪別處大智院文殊堂書寫
之畢抑當山明神感應之地勝利新世堂園文殊安置之
砌大智苑入願依此書寫微功漸解三斜蓋界之性相遂澄
五重唯識之與旨焉兼乞本寺三十講演之場不踏一座
四帖之疑圃免率四十九重之臺通達三性十地之深義
矣

有字末字少門庚子春秋十八
夏曆三週

年
月
日

昭和
年
月
調

(年譜)

宗性上人資料集原稿

113
182
号
1
册

P

八不深觀抄

(表題) 宗性自筆

〔八不深觀抄〕

○冊子本

113
182
1

沙内釋實弘

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月
調

P /

(内表紙)

○庚子自筆

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

寛元四年七月廿日始之

八不深觀欽

釋庚弘

(内題)

八不深觀文集

寛之四年七月廿日酉時於
東大寺知足院抄写之

○但し、本書ノ奥書ナシ

年
月
日

昭和
年
月調

113
183
1
冊

P

幽暗淨心抄

幽暗淨心抄

〇冊子本

113
183
1

沙門釋實弘

(年譜)

宗性上人資料集原稿

P /

(内表紙)

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

幽暗淨心錄

寛元々年八月七日始之

寛弘

(内題)

幽替至要集

自寛元々年八月五日於笠置寺般若院

奉對禪忍卿房与數輩共傳習之次聊染心肝催信心

年 月 日

昭和 年 月 調

(年譜)

宗性上人資料集原稿

文如法少々撰之、勵暗誦之、雖一念願欲發心之故也、
文段雖新簡、事人、更不記也、

十一日 上卷淡義畢、

十二日 始之

(奥書)

寛元々年八月十七日於笠置寺般若院奉對禪思御房
奉懷之了、首尾十三日也、

願以此功德併迴向佛道、參詣三層出世成就、二利大願矣、

相似沙門釋、宣弘、年歲
廿三

年
月
日

昭和
年
月
調

P 3

結衆⁵

僧都御房

辨真房

教念房

戒蓮房

待從公

勝覺房

初七日

寶阿弥陀佛終三三三

寅卯

玄贊至要文

自寛元々年十月十日於西塔院第三弓半
被談之

力三卷

力四局

十月廿九日奉談之了

自十一月一日始之

(年譜)

宗性上人資料集原稿

10

15

20

25

年
月
日

昭和
年
月
調

P 6

金剛般若會釋要文

寛文三年十月十七日
奉對上綱信願佛房

於知足院傳習之

〇但、本書抄出後、
貞享十一年

(年譜)

宗性上人資料集原稿

25

113
函
184
号
1
冊

P /

大品般若經品目

(表題) 宗性自筆

大品般若經品目

〇冊子本

113
184
1

沙門釋廣弘

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

113
函
184
号
1
册

P 2

内表紙
○寅34自事

5
10
15
20
25

(年譜)
宗性上人資料集原稿

仁治三年四月廿二日

大品般若品目

功内寅34

○但こ、本書ノ奥書ナシ。

年
月
日

昭和
年
月
調

113
國
185
号
1
冊

()

P /

『金剛般若贊述要文』

〇冊子本

113
185
1

(表題)
宗性自筆

金剛般若贊述要文

功内釋實弘

5
10
15
20
25

(年譜)
宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

P 2

(内表紙) 心海自筆

5
10
15
20
25

(年譜)
宗性上人資料集原稿

金剛般若積述要文

實元參年霜月
淡巖三次欽之

花嚴宗沙門心海

(内題)

金剛般若積述上卷要文

自實元三年十月廿七日於能足院別處被談之

清印御房 己下七八輩

年
月
日

昭和
年
月
調

P 3

(奥書)

〇中略

十二月五日 上巻抄了。

(内題)
下巻

同六日被讀始之。

〇但し、本書、奥書ハナシ。

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

113
函
186
号
1
册

P /

調
伏
意
要
抄

沙
門
釋
實
弘

(表題) 宗性自筆

調
伏
意
要
抄

〇
冊
子
本

113
186
1

5

10

15

20

25

(年 譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月
調

P 2

(内表紙)
寅卯自筆

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

調
伏
意
馬
鈔

仁治三年正月始之

沙内釋寅卯

。但、本書ノ奥書ナシ。

年
月
日

昭和
年
月
調

113
函
187
号
1
册

P 1.

〔虚空藏菩薩感應抄〕

(表題) 宗性自筆

〇冊子本

113
187
1

虚空藏菩薩感應抄

沙門釋宗性

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

P 2

丙表紙

盧厓藏菩薩應教

求菩提人實弘

〇但し本書ノ奥書ナシ

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月
調

P 1

心地觀經疏要文抄

(表題) 宗性自筆

〇冊子本

113
188
1

心地觀經疏要文抄

功内釋富弘

(丙題) 〇富弘自筆

心地觀經疏要文抄

自建長六年七月三日於知足院
談始之

年
月
日

昭和
年
月
調

(年譜)

宗性上人資料集原稿

P 2

(年譜)

宗性上人資料集原稿

5

10

15

20

25

七月十二日 卷一 改義了。

七月十三日 卯二卷 漢始之

七月廿三日 功二 卷谈義了。

七月廿四日卯三卷談始

但元、本書校出終、興書上

年
月
日

昭和 年 月 調

113
函
189
号
1
册

P /

毗
居
討
要
文
集

(表題)
宗性自筆

〇冊子本

113
189
1

毗
居
討
要
文
集

沙内釋
庚辰

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月
調

P 2

(内書紙) 〇実弘自筆

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

實之刻季六月始之、

毗尼討要文集
寂略

私

破戒釋子實弘

(内題)

毗尼討要文集

自實之三年六月一日於西塔院被謾之、

(奥書)

上本之月十六日謾之了、

上末自六月十七日始之、

年 月 日

昭和 年 月 調

P 3

(年譜)

宗性上人資料集原稿

5
10
15
20
25
七月六日上卷談義了。

中卷
自七月七日始之。

七月比移知足院三箇依物念返轉了。

慶之四年同四月十四日又始より被讀之。

小僧為庵持病今月十一日ニ出水門之間、始ニ不付。

同廿三日罷還住、仍廿四日より付之上本半方許より也。

中卷
本 自五月十八日於知足院被談之。

(丙題)

毗尼村要
卷中末

(奥書)
七月一日談義了。

卷下
本 同二日被談始之。

年
月
日

昭和
年
月調

113
圖

189
号

1
冊

冊

P 4

年
月
日

昭和
年
月
調

○但之本事抜出時、奥書ナシ。

下
朱

同日

被
談
指
之

下
本

七月十七日

被
修
其
功

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

P 1

銘肝落淚抄

○冊子本

113
190
1

(表題) 宗性自筆

(内表紙) 庚弘自筆

銘肝落淚抄

功内釋庚弘

○但し、本書ノ奥書ナシ

銘肝落淚鈔

釋子庚弘

仁治三年四月三日燈

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月
調

113
函

191
号

1
册

P

年
月
日

昭和
年
月調

自
字
心
道
口
記

別
掲
、
抄
入
の
こ
と

5

10

(年譜)

15

20

25

宗性上人資料集原稿

P /

5
10
15
20
25
礼懺禪觀等法事

円覚道場修津康懺束

○冊子本

111
303
8-1

(包紙)

五百五十六年條

文化二年改元

釋実34

(内題)

円覚道場・礼懺禪觀等法事卷第一

終南山草堂寺沙門

宗密述

(奥書)

「寶治三年正月廿七日於東大寺知足院書畢」

以比亭

年
月
日

昭和
年
月
調

(年譜)

宗性上人資料集原稿

111
函
303
号
8-1
册

P 2

梅庵本書写了

沙内更34

同二月廿九日以写本一校了。

四
冊

圓覺道場修證廣懺文

〇冊子本

111
303
8-1

内題

圓覺道場修證廣懺文卷第二

終南山草堂寺沙内

字密述

年
月
日

昭和
年
月
調

(年譜)

宗性上人資料集原稿

111
函
303
号
8-1
册

P _____

(興書)

寶治三年正月五日於東大寺知足院書寫了

執事 実34

一枚了

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月調

111 函

303 号

8-2 册

P 1

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

礼懺文

圓覺道場礼懺禅觀法事

四三

〇冊子本

111
303
8-2

(包紙)

四十五

釋実弘

(内題)

圓覺道場礼懺禅觀法事卷第三

(奥書)

寶治三年正月廿三日

西於東大寺

師足院菴庫以北京梅尾具本書寫了

執事沙門實弘釋心海

一校

同集古拾遺抄邊抄本

一校

年
月
日

昭和
年
月
調

111
函

303
号

8-2
册

P 2

〔圓覺道場礼儀禅觀法事〕

四

○冊子本

111
303
8-2

(内題)

圓覺道場礼儀禅觀法事卷第四

終南山草堂寺沙門

宗密述

(奥書)

寶治三年正月十三日
西於東大寺知足院菴室以北京
梅尾之本書寫之了

執筆沙門庚弘

(15)
同三月一日於水内辺以寫本一校了

年
月
日

昭和
年
月
調

(年 譜)

宗性上人資料集原稿

111
函

303
号

8-3
册

P 2

(包紙)

圓覺道場禪觀法事禮懺文

五

○冊子本

111
303
8-3

圓覺道場禪觀法事禮懺文卷五

釋實弘

題

圓覺道場禪觀法事禮懺文 五

終南山草堂寺 沙門宗密述

(年譜)

宗性上人資料集原稿

25

111
303
8-3
冊

P 3

(與書)

寶治三年正月廿九日
時於東大寺知足院別處以北京
梅庵之本書寫了

一枚了

沙門寅弘
廿九年
龍

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月
調

11 國
303 号
8-3 冊

P 4

5 10 15 20 25 (年 譜)

宗性上人資料集原稿

圓覺道場禪觀法事礼懺文卷

六
○冊子本

11
303
8-3

(内題)

圓覺道場禪觀法事礼懺文卷第六

終南山草堂寺沙門 宗密述

(奥書)

寶治三年二月九日 跋於東大寺知足院草堂以西山梅庵

本書寫之了

一枚了

沙門釋心海 行年廿九

年 月 日 昭和 年 月 調

5

10

15

20

25

〔圓覺道場禪律法事禮懺文〕七八〇冊子本

111
303
8-4

(内題)

圓覺道場禪觀律法事禮懺文卷第七

終南山草堂寺沙門

宣密述

(奥書)

寶治三年二月廿一日時於東大寺南水門邊以北京梅尾

之本書寫之了

一校了

沙門心象

(内題)

〔圓覺道場禪觀律法事禮懺文〕卷第八

P /

年
月
日

昭和
年
月
調

111
函
303
号
P-4
册

P 2

(奥書)

終南山草堂寺内 宗密述

寶治三年二月廿五日 西 於東大寺南水内之邊以北京

梅尾本書寫之

執筆庚弘

同廿八日一校了

(年譜)

宗性上人資料集原稿

年
月
日

昭和
年
月
調

111

303
号

8-15
册

P /

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

圓覚道場禅觀茅活事礼懺文

九十
〇冊子本

111
303
8-15

(内題)

圓覚道場禅觀茅活事礼懺文卷第九

終南山草堂寺沙門

宗密述

(奥書)

一校了

年
月
日

昭和
年
月調

P /

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

圓覚道場修證廣儀

十一

○冊子本

111
303
8-6

(内題)

圓覚道場修證廣儀卷第十一

終南山草堂弄沙門

宗密述

(奥書)

一校了

(内題)

圓覚道場修證廣文卷第十二

終南山草堂弄沙門

宗密述

(奥書)

一校了

年
月
日

昭和
年
月
調

111
函

303
号

8-17
册

P /

5

10

15

20

25

(年譜)

宗性上人資料集原稿

圓覺道場修燈廣礼懺文

十三

○冊子本

111

303

8-17

(内題)

圓覺道場修燈廣礼懺文卷第十三

(奥書)

一校了

終南山草堂寺沙門

宗密

述

(内題)

礼懺禪觀要法事卷第十四

圓覺道場礼懺禪觀要法事卷第十四

終南山草堂寺沙門

宗密

述

(奥書)

一校了

年
月
日

昭和
年
月
調

P

5

10

15

20

25

(年 譜)

宗性上人資料集原稿

圓覚道場礼懺禪觀華法事十五卷 冊子本

111
303
8-8

(内題)

圓覚道場礼懺禪觀華法事卷第十五

終南山草堂寺沙門 宗密述

(奥書)

一校了

(内題)

圓覚道場修證礼懺廣文卷第十六

終南山草堂寺沙門

宗密述

(奥書)

一校了

年 月 日

昭和 年 月 調